

この学校にわたしたち

2022. 07. 5 N020

一輪の花



4年生国語の学習で「一つの花」という物語を学習します。戦争に行くことになった父親が残していく幼い娘に駅の片隅に忘れられていたように咲いていた1輪のコスモスに願いを託して渡すというお話です。随分前に私自身が4年生の担任をした頃から国語の教科書にあった話です。

先日、校内の授業公開研究があり、授業の参観をしました。

ハッ山小学校の児童は教室の落とし物が全体的には少なく、家庭・地域の教育のおかげであると感じています。しかしながら、市内の多くの小学校では子どもたちの落とし物の多さ、給食の残食の問題に悩まされている現実があります。

「衣食あまりて礼節を忘れ、物多すぎて、平和に甘えて心すさぶ」。まさに現代の世の中にはこの言葉どおりのような気がします。物が多すぎてなくなっていてもわからないのです。かの千利休が豊臣秀吉を茶室に招いたときに朝顔の花一輪を床の間に飾って延々と秀吉を待たせたそうです。そして、待たせに待たせてから、名人芸でお茶をたてたという話があります。そのお茶はきっと秀吉を感動させたことでしょう。これは利休の見事な演出だったのだと思います。ある人が「現代は欠乏することが欠乏している」と言っているのを聞きました。今の子どもたちに必要なことはこのことなのかもしれません。我慢させるからこそ、一輪の花の美しさ（ものの本質）が感じとれたりするのです。ものごとのありがたさがわかるのです。現代の世の中であって、なかなか“あえて我慢させる”ことの難しさはあると思いますが、子どもたちには、食べ物だけでなく、いろいろなものの有難さを理解してほしいなあと思います。



異常な気温…

今年は近年になく、梅雨が梅雨らしくなく、あっという間に梅雨も明け、6月下旬からは異常な気温の日が続いています。私は小学生1年生の時、夏休みの自由研究で40日間気温を測り続けたことがあります。ほとんどが28～29℃で本当に暑い日でも31～32℃程度だったと記憶しています。ところが昨日、運動場の気温は41℃を示していて驚きました。保護者の皆様には下校時のお迎えをお願いすることになりお世話をおかけしております。有難うございます。この気温ですから、さすがに20分休み・昼休みの運動場での遊びは禁止せざるを得ず、残念に思うところです。赴任以来、昼休みは子どもたちと一緒にドッジボールをすることが楽しみで、子どもたちも喜んでくれていることに私自身も嬉しく思っていました。私の不注意でドッジボールをしている際、右足の中頭骨を骨折するというハプニングはありましたが、固定をしながらもドッジボールをしていました。子どもたちが喜んでくれる姿をただみたいからです。ですから、今は子どもたちと遊べなくて残念です。でも、これも私の骨折を治すための期間と捉え、1日も早く治そうと思っています。今は、代わりに昼休みも校長室を開放し、エアコンの効いた校長室で子どもたちとふれあうようにしています。